

米子市スポーツ推進計画に掲げる施策の事業別実施状況

米子市スポーツ推進計画における施策	具体的事業内容	所管	令和3年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和3年度決算	次年度取組予定
基本方針 I 個々の適性や目的に応じたスポーツ活動の充実						
1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進						
(1) 子供のスポーツ活動の推進						
I-1 (1)-ア	ア 幼児期からの体力向上の推進 親子体力づくり大会	スポーツ振興課	秋分の日に市民体育館で開催した。コロナ禍での開催であり、密を避けるため70組140名定員設定として開催した。参加人数は40組80名だったが、今後も社会情勢を見ながら競技団体と検討していきたい。	【親子体力づくり大会】 R3.9.23(秋分の日) 参加者数 80人	開催委託料 38,500円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 少年スポーツ教室	スポーツ振興課	通年開催の少年スポーツ教室(7教室)を開催した。しかし、新型コロナウイルスの変異株による感染拡大の影響により、7月と1月については一時中止とした。また、夏期の少年スポーツ教室(新規開催のダンススポーツを含む5教室)は7月の感染拡大時期と重なり、全面中止とした。参加者数は、開催を中止した教室が多かったこともあり、令和2年度に比べて2,000人程度減少した。今後はコロナ禍においても、子どもが安全にスポーツ活動へ参加できる機会を拡充していくことを念頭に、新規種目を増やすなどの魅力向上を図り教室を開催していきたい。	【少年スポーツ教室】 参加者数 10,580人 (内訳) 剣道 1,260人 柔道 2,880人 陸上競技 194人 ミニバス 165人 体操 300人 ラグビー 981人 ハンドボール 4,800人	開催委託料 (内訳) 剣道 80,000円 柔道 80,000円 陸上競技 48,000円 ミニバス 48,000円 体操 48,000円 ラグビー 48,000円 ハンドボール 48,000円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 小学生を対象とする各種大会	スポーツ振興課	小学生を対象とした少年野球大会、バレーボール大会及びスポーツ少年団交流大会の3大会を開催した。コロナ禍のため、感染拡大防止対策を講じ実施した。参加者は前年度から増加し、野球大会については前年同様2部リーグが開催されるなど、多くの小学生に実戦経験の場を提供することができた。今後も引き続き競技団体と連携した取組みを進めていきたい。	【小学生スポーツ大会】 参加者数 663人 (内訳) 野球 280人 バレーボール 310人 スポーツ少年団交流大会 73人	開催委託料 (内訳) 野球 50,000円 バレーボール 15,500円 スポーツ少年団交流大会 10,000円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 スポーツ少年団運営事業	スポーツ振興課	各スポーツ少年団の交流を目的とした「スポーツ少年団交流大会」を開催した。また、競技別交流大会(軟式野球)を開催したほか、子どもの健全な指導育成を目的とした、「野球ひじ」の検診を前年に引き続き開催し、青少年の健全育成を図った。引き続き、多くの子どもが競技種目の垣根を越えた交流が行えるよう企画運営に努める。	【スポーツ少年団交流大会】 R3.11.3 参加者数 73人 【市競技別交流大会】 軟式野球 12チーム 野球ひじの検診 282人	開催委託料 スポーツ少年団交流大会 10,000円	継続
I-1 (1)-ウ	ウ 学校体育・部活動の充実 運動部活動推進事業	学校教育課	【配置校】 東山中…女子卓球部、男子卓球部 淀江中…男子バスケットボール部 弓ヶ浜中…男女剣道部 後藤ヶ丘中…女子新体操部、男子バレーボール部、男女柔道部 福生中…男女バドミントン部、女子バスケットボール部 【成果】 外部指導者を活用することにより、より専門的な指導が可能になった。	実施校 5校 部活数 9	補助金事業(県と市町で1/2) 合計 835,800円 (内訳) 市費 417,900円 県補助金 417,900円	補助金事業 (県と市町で1/2)で継続 予定

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和3年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和3年度決算	次年度取組予定
1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進							
(2) 成年期からのスポーツ活動の推進							
I-1-(2)	各種スポーツ大会	市民レガッタ、正月マラソン大会、ドッチビー大会、インディアカ大会、スキー大会など、年齢・経験を問わず、市民のだれもが気軽に参加しやすい大会を開催することにより、スポーツ活動の機会を提供し、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	コロナ禍のため、市外在住の参加者の多い3大会は中止し、市内在住者中心の2大会の実施により生涯スポーツの推進を図った。市民レガッタについては代替大会として10月に記録会を行った。市民交流大会については、前年度に引き続きポッチャ、インディアカを実施。インディアカについては参加者は横ばいだったが、ポッチャは前年度の約1.5倍の参加者があり生涯スポーツの推進についても成果があった。また、当課で行っている器具の貸し出しについて4件の実績と前年より減っているが、誰でも気軽に楽しめるスポーツとして徐々に浸透してきている。中止となった大会については、今後も社会情勢を見ながら競技団体と連携し、次年度以降の対応を検討していきたい。	参加者数 234人 (内訳) 市民レガッタ 中止 市民レガッタ代替大会 50人 ポッチャ交流大会 116人 正月マラソン 中止 インディアカ大会 68人 市民スキー大会 中止	開催委託料 (内訳) ポッチャ大会 9,000円 市民レガッタ代替大会 19,000円	継続
I-1-(2)	市民体育祭	公民館地区又は中学校校区単位のチームで参加できる野球、バドミントン、バレーボール大会などを開催し、競技スポーツに親しむ機会をつくることで、地域住民の交流及び地域のスポーツ活動の推進を図ります。	スポーツ振興課	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う制約の中で、参加チームが少なかったことにより、野球大会は中止した。その他大会の開催については、感染拡大時期を外れていたため、各競技団体と協議し、感染対策を行い実施した。しかし、参加チーム数と参加者数は令和元年と比較して、40チーム、550人程度減少した。コロナ禍においても、市内の感染状況等を見極め、十分な感染対策を図り、可能な限り市民にスポーツを実施できる環境を提供できるよう努めていきたい。	参加チーム 97チーム 参加者数 735人 (内訳) ソフトボール 4チーム・56人 卓球 6チーム・63人 バドミントン 6チーム・42人 バレーボール 9チーム・128人 ソフトテニス 5チーム・72人 グラウンド・ゴルフ 57チーム・317人 ゲートボール 10チーム・57人	開催委託料 (内訳) ソフトボール 58,100円 卓球 24,900円 バドミントン 42,200円 バレーボール 50,900円 ソフトテニス 16,300円 グラウンド・ゴルフ 19,700円 ゲートボール 34,200円	継続
I-1-(2)	体力づくり歩け歩け大会・体カテスト会	スポーツ推進委員が主体となり、健康増進のため、誰でも参加できる毎月1回のウォーキング(歩け歩け大会)、年間2回の体カテスト会を実施します。スポーツや体力づくりへの関心を高め、気軽に運動に親しめる機会をつくり、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	【体力づくり歩け歩け大会】 新型コロナウイルス感染拡大により、年間12回のうち4回は中止となったが、感染症対策を徹底した上で8回実施した。R2年度は4回の開催であったため、8回開催したR3年度の延参加者数は大幅に増加した。 次年度以降も、新型コロナウイルス感染状況に応じた大会運営に努め、開催する場合は感染症対策を徹底した上で実施する。 【体カテスト会】 新型コロナウイルス感染拡大のため前後期ともに中止した。	【体力づくり歩け歩け大会】 8回実施 延参加者数 270人 【体カテスト会】 前期・後期ともに中止	【体力づくり歩け歩け大会】 旅費 0円 施設使用料 1,000円 【体カテスト会】 開催委託料 0円	継続
I-1-(2)	ユニバーサルスポーツ教室	各競技団体と連携し、風船パレー、スポーツ吹き矢、スポーツチャンバラ、ポッチャ、ウォーキングサッカー等を公民館で実施することで、生涯スポーツの推進やスポーツを通じた地域住民の交流を図ります。	スポーツ振興課	4公民館(就将、崎津、啓成、義方)からポッチャ教室の申し込みがあり実施した。 ユニバーサルスポーツの普及と公民館でのスポーツを通じた交流に寄与した。 次年度以降も、競技団体との連携により、各公民館の希望にあわせた教室を実施したい。	【ポッチャ教室】 4回実施 延参加者数 110人	【ポッチャ教室】 委託料 20,000円 (5,000円×4回)	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和3年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和3年度決算	次年度取組予定
1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進							
(3) 高齢者のスポーツ活動の推進							
I-1-(3)	がいなみっく予防トレーニング(通所型運動機能向上事業)	生活機能の低下が認められる高齢者を対象に、フィットネスクラブ、介護保険施設等で筋力トレーニング・有酸素運動・ストレッチ等を、理学療法士・作業療法士又は健康運動指導士により行います。運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	健康対策課	14ヶ所のフィットネスクラブや介護保険施設で実施。がいなみっく予防トレーニング終了後も、そのまま利用した施設で一般利用につながっている方が多い。運動のきっかけづくりとしての事業目的を達成するため、新規利用者の獲得が課題。また、単に運動だけでなく、総合的なフレイル予防効果を得られるように、専門職と連携しながら内容を充実していく必要がある。	【がいなみっく予防トレーニング】 参加実人数 313人 延参加者数 2,766人 ※実施回数は、施設ごとで曜日や時間が異なるため不明	報償費 452,200円 消耗品費 22,475円 印刷製本費 792円 通信運搬費 260,000円 手数料 61,725円 委託料 3,371,130円 給料 3,410,000円 職員手当 825,000円 共済費 800,000円	継続
I-1-(3)	ふらっと運動体操(通所型運動機能向上事業)	高齢者を対象に、ふれあいの里等、市内3箇所の施設に設置された運動トレーニング機器を開放し、予約なしでふらっと立ち寄り気軽に運動できる環境を整備することにより、運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	健康対策課	各々のペースで、メニューを考えて運動する雰囲気が定着している。また、各会場で参加者同士の会話も見られ、仲間づくりにも繋がっている。体力測定等、運動効果の検証を行い、リハビリ専門職との連携をとりながら、より充実した事業を展開していく必要がある。	【ふらっと運動体験】 延参加者数 4,078人 実施回数 167回	報償費 282,200円 委託料 2,198,115円	継続
I-1-(3)	よなGO!GO!体操普及事業	高齢者が楽しく運動できるように「365歩のマーチ」の曲に合わせて、立ったり座ったりなど日常生活の動きを取り入れながら、普段動かさなくなった関節や筋肉を動かす体操です。よなGOGO体操を普及させ、高齢者が出来るだけ、長く健康でいきいきした生活を送れるよう、運動習慣のきっかけづくりとすることを目指します。	健康対策課	施策単独での報告は無し (II-1 米子市健康づくり地域サポーター養成事業に含まれるため)			継続
基本方針 I 個々の適性や目的に応じたスポーツ活動の充実							
2 障がい者のスポーツ活動の推進							
I-2	福祉大会等開催助成事業	鳥取県内で実施されている、さわやか車いすマラソン大会、手をつなぐスポーツ祭、アクアスロン皆生大会等の障がい者の各種大会の開催経費の一部を助成します。大会を通じて、障がい者がお互いの理解と親睦を深めると共に、積極的に社会参加する意欲を喚起することを目指します。また、市民の障がい者に対する正しい理解の啓発を図ります。	障がい者支援課	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定されていたさわやか車いすマラソン大会、手をつなぐスポーツ大会、アクアスロン皆生大会は中止となった。そのため、必要経費部分についてのみ助成、或いは事業実績なしのため、補助金支出しない事業もあった。	【さわやか車いすマラソン大会】 中止 【手をつなぐスポーツ大会】 中止 【アクアスロン皆生大会】 中止	【さわやか車いすマラソン大会】 23,531円(補助金) ※大会プログラム、Tシャツなど支出済部分について補助金対象 【手をつなぐスポーツ大会】 0円(補助金) 【アクアスロン皆生大会】 0円(補助金)	継続
I-2	各種スポーツ・体操講座(障がい者福祉施設管理運営事業)	指定管理者の自主事業として、米子市心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフ、ヨガ、卓球等の講座や、車いすバスケットボール、風船バレーボール、GOGO体操等のスポーツを行います。スポーツを通じて体を動かす喜びを知ってもらうことで、身体能力の向上と仲間との交流を図ります。また、運動不足になりがちな方々の身体能力の回復を図ります。スポーツ大会の際には、障がいのない人がボランティアとして参加するなど、障がいのある人とならない人の交流促進を図ります。	障がい者支援課	指定管理者の自主事業として、米子市心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフやサウンドテーブルテニス、車いすバスケットボール、風船バレーボール等のスポーツを行った。また、各種パラスポーツの体験イベントを開催し、障がいのある方のスポーツ体験の促進と、身体能力の向上、仲間との交流を図った。	グラウンドゴルフ 43回 サウンドテーブルテニス 22回 フレイル予防体操 19回 車いすバスケットボール 17回 風船バレーボール 9回 車いすアーチェリー 44回 スポーツイベント 1回	指定管理料 348,332円(内訳) グラウンドゴルフ 0円 サウンドテーブルテニス 183,744円 フレイル予防体操 96,704円 車いすバスケットボール 28,390円 風船バレーボール 15,030円 車いすアーチェリー 24,464円 スポーツイベント 0円	継続
I-2	米子市こころの広場事業	在宅療養中で、精神に障がいのある方が、体育施設等でスポーツ(卓球、バドミントン、風船バレー等)を行うことで、他者との交流を図ります。	障がい者支援課	5月には米子サン・アビリティーズにて、卓球・バドミントン・フットサル・風船バレーを実施した。グループに分かれて、順番に様々なスポーツを体験していただいた。 2月には講師の先生を招いて、ふれあいの里の運動指導室にて「ストレッチ体操」を実施した。	【スポーツ体験】 R3.5.19 参加者数9人 【ストレッチ体操】 R4.2.17 参加者数13人	報償費:6,500円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和3年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和3年度決算	次年度取組予定
基本方針Ⅱ スポーツ活動によるコミュニティづくりと地域振興							
1 地域のスポーツ活動の推進							
Ⅱ-1	スポーツ推進委員協議会運営事業	米子市スポーツ推進委員協議会を運営し、スポーツ推進委員により、住民に対するスポーツの実技の指導その他、スポーツに関する指導及び助言を行うことで、地域でのスポーツ活動の活性化に向けた取り組みを行い、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	【スポーツ推進委員協議会】 新型コロナウイルス感染拡大により、市民を対象とした体カづくり歩け歩け大会は一部中止、体カテスト会は前後期ともに中止となったが、ポッチャ交流大会や機関紙の発行といった主管事業は例年通り実施した。 また、協議会内部の事業として、ニュースポーツ講習会(ポッチャ)及びストレッチ体操研修会を実施した。	【ポッチャ交流大会】 参加者116人 【ニュースポーツ講習会(ポッチャ)】 参加者数 37人 【ストレッチ体操研修会】 参加者数 37人	スポーツ推進委員協議会運営費 2,164,600円	継続
Ⅱ-1	学校体育施設開放事業	小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域に開放します。学校体育施設を有効活用することにより、地域住民にスポーツ活動の場を提供し、地域でのスポーツの活性化を図ります。	スポーツ振興課	新型コロナウイルスの感染症拡大の影響による休校等により利用を中止することがあったが、学校運営に支障のない範囲で地域に開放した。 今後も、学校体育施設の地域での開放に努め、市民スポーツの振興を図る。	【利用実績】 小学校 14,550件、323,165人 中学校 1,636件、22,870人 【学校当たり平均実績】 小学校(23校) 632件、14,050人 中学校(11校) 148件、2,079人	印刷製本費 96,800円 消耗品費 719,651円	継続 (令和4年度からこども施設課へ所管替)
Ⅱ-1	やって未来や塾(米子市地域健康づくり応援事業)	地域住民を対象に、健康運動指導士が運動を主体とした健康づくりのための運動指導及び活動支援を行います。地域住民が、自主的な活動として楽しく継続的に取り組んでいくことを支援し、運動を主体とした健康づくりを図ります。	健康対策課	継続的支援、新規立ち上げ支援を行った。 年3回運動等の内容についての支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止による活動自粛要請のため、支援回数は少なかった。 新規の立ち上げは1か所であった。	【新規活動支援】 1ヶ所、5回 延参加者数 83人 【継続活動支援】 31ヶ所、78回 延参加者数 1,014人	委託料 502,000円	継続
Ⅱ-1	米子市健康づくり地域サポーター養成事業	地域で運動を主体とした健康づくり活動をした方が、「健康づくり地域サポーター」として、地域で健康づくり活動を推進していきます。地域サポート講座や研修会等で得た介護予防に関する知識の地域への普及、「よなGOGO体操」の普及活動、地域の体力測定会やサロンでの健康づくり活動のサポートなどを行うことで、地域全体での高齢者を支える仲間づくりをすすめ、地域での健康づくりを目指します。	健康対策課	地域サポート講座基礎編とスキルアップ編を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策をしながら、いかに地域での活動につなげられるか講義及び話し合いを行った。 サポーターの平均年齢が高くなっており、若いサポーターの確保とともに、サポーターの役割を再構築し、新規のサポーターを育成できるよう体制を整える必要がある。	【基礎編】 2回 参加者数 83人 【スキルアップ編】 4回 参加者数 54人	報償費 46,800円 消耗品費 142,185円 印刷製本費 792円 燃料費 11,011円 通信運搬費 80,000円 委託料 32,000円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和3年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和3年度決算	次年度取組予定
2 スポーツに触れる機会の提供							
Ⅱ-2	プロスポーツの支援活動	地元で活躍するプロスポーツチームの活動を応援し、また、競技、チームに関する情報発信や、ホームゲームに合わせてイベントを開催するといった、市民にプロスポーツをより身近に感じてもらえるような機会の提供に努めます。	スポーツ振興課	ガイナレ鳥取ホームタウンデーにおけるイベントを開催し、市内の特産品の寄贈などを通して会場内で情報発信をおこなった。	【ガイナレホームタウンデーイベント】 R3.10.3(日)	消耗品費 57,515円	継続
Ⅱ-2	全国トライアスロン皆生大会	日本トライアスロン発祥の大会であり、本市を発着点として鳥取県西部一円で開催されています。大会では毎年数多くのボランティアの方が参加し、市民と選手が直接触れ合う機会となっています。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	第40回の記念大会であり、市町村対抗リレーなど新たな取組みも予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け開催中止となったため、大会維持に必要な経費の一部について助成を行った。当大会は市を代表する一大イベントとして定着しており、経済波及効果も大きいと、競技団体と連携しながら、今後も大会を維持し、安全・安心な形で開催できる方法を検討していく必要がある。	【全国トライアスロン皆生大会】 開催中止	補助金 2,800,000円	継続
Ⅱ-2	皆生・大山SEA TO SUMMIT	日本海から大山山頂までをカヤック・自転車・登山の3種目で目指す体験型環境スポーツイベントです。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	前年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とした。今後もこの地域を代表するスポーツツurisズムの大会として、鳥取県、大山町、日吉津村と連携を図り地域の魅力を発信していきたい。	【皆生・大山SEA TO SUMMIT2021】 開催中止	事業運営負担金 130,436円	継続
基本方針Ⅲ スポーツ環境の充実							
1 競技力の向上							
Ⅲ-1	スポーツ協会運営事業	米子市スポーツ協会を運営し、スポーツ団体との連絡調整を行い、優秀な成績を収めた競技者を表彰するなどして、各種スポーツの振興を図るとともに、各競技団体の競技力向上を図ります。	スポーツ振興課	米子市スポーツ協会として、以下の事業を実施した。 ・7種目のスポーツ教室、5種目のスポーツ大会、7種目の市民体育祭を加盟団体に委託して実施することにより、市民体育行事への推進と協力を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により、3種目のスポーツ教室、4種目のスポーツ大会、1種目の市民体育祭を中止した。 ・鳥取県民スポレク祭実行委員会に参画し、加盟団体に対し参加の呼びかけと参加者の取りまとめを行った。 ・県大会以上の大会で優れた成績を挙げた小学生から一般の選手について、加盟団体からの推薦に基づき選考し、表彰した。	【鳥取県民スポレク祭参加者実績】 1,382人 【スポーツ表彰事業】 個人 126人 団体 32団体 【小学生全国大会出場激励金交付事業】 個人 9人 団体 5団体	米子市スポーツ協会補助金 74,000円	継続
2 スポーツ施設等の充実							
Ⅲ-2	体育施設管理運営事業	体育施設については、各種スポーツ大会の会場及び災害時の避難所となるため、危険箇所および老朽箇所の改修を行い、利用者に安全・快適に体育施設を利用してもらえるよう管理運営に努めます。	スポーツ振興課	・市民体育館 県と共同で行う新体育館整備事業について、令和2年度の検討内容に基づき、令和3年度当初に基本計画の策定・公表を行った。 また、基本計画の内容に基づきPPP/PFI手法導入可能性調査を実施し、民間事業者へのサウンディング調査の結果等を踏まえ、整備手法(PFI手法BTO方式)及び事業期間、事業範囲等を決定した。 ・東山庭球場 崩壊の危険性がある擁壁について、補修工事を行った。 ・淀江球場 淀江球場の設備を充実させるため、外野グラウンド芝生化、スコアボード電光掲示板板化、内野スタンド改修、本部室改修、トイレバリアフリー化等の改修工事を行った。	【市民体育館】 米子新体育館整備等に関するPPP/PFI手法導入可能性調査業務委託 米子新体育館整備等に関するPPP・PFI手法導入可能性調査測量業務委託 【東山庭球場】 東山庭球場擁壁改修工事 【淀江球場】 淀江球場グラウンド改修工事 淀江球場建築主体工事 淀江球場電気設備工事 淀江球場機械設備工事 淀江運動公園給水管改修工事	【米子新体育館整備等に関するPPP/PFI手法導入可能性調査業務委託】 5,258,000円 【米子新体育館整備等に関するPPP・PFI手法導入可能性調査測量業務委託】 3,649,800円 【東山庭球場擁壁改修工事】 18,020,000円 【淀江球場グラウンド改修工事】 103,566,300円 【淀江球場建築主体工事】 76,460,923円 【淀江球場電気設備工事】 47,933,000円 【淀江球場機械設備工事】 17,655,000円 【淀江運動公園給水管改修工事】 13,998,600円	継続

《参考資料》

基本方針 I-1-(1) 子どものスポーツ活動の推進

【親子体カづくり大会】

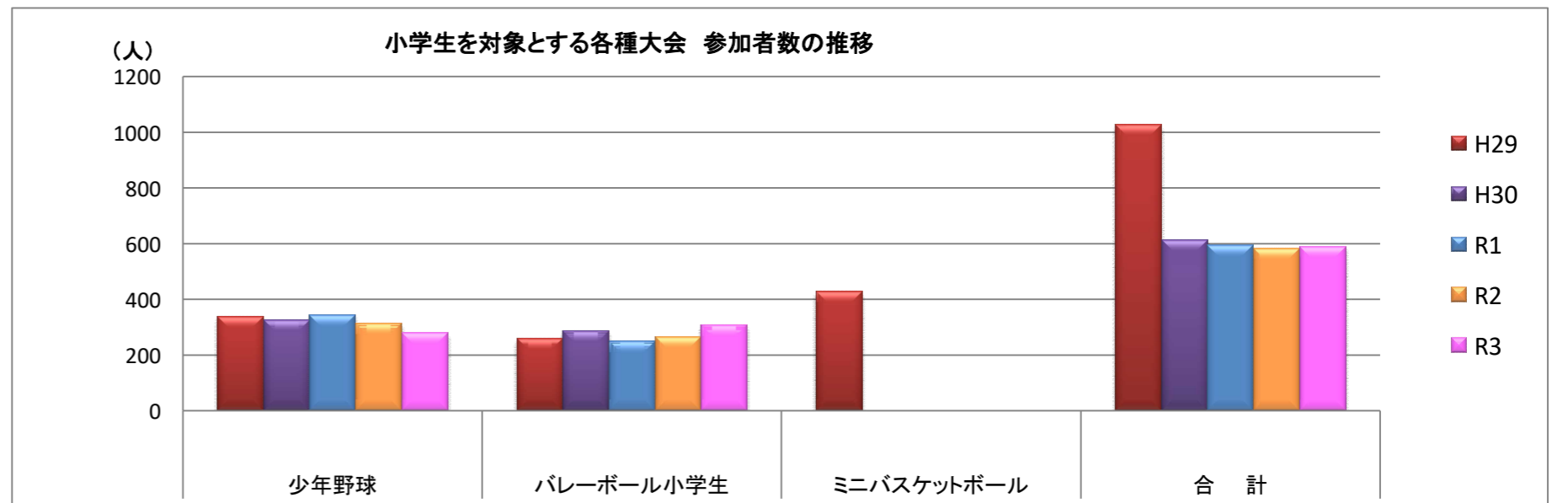
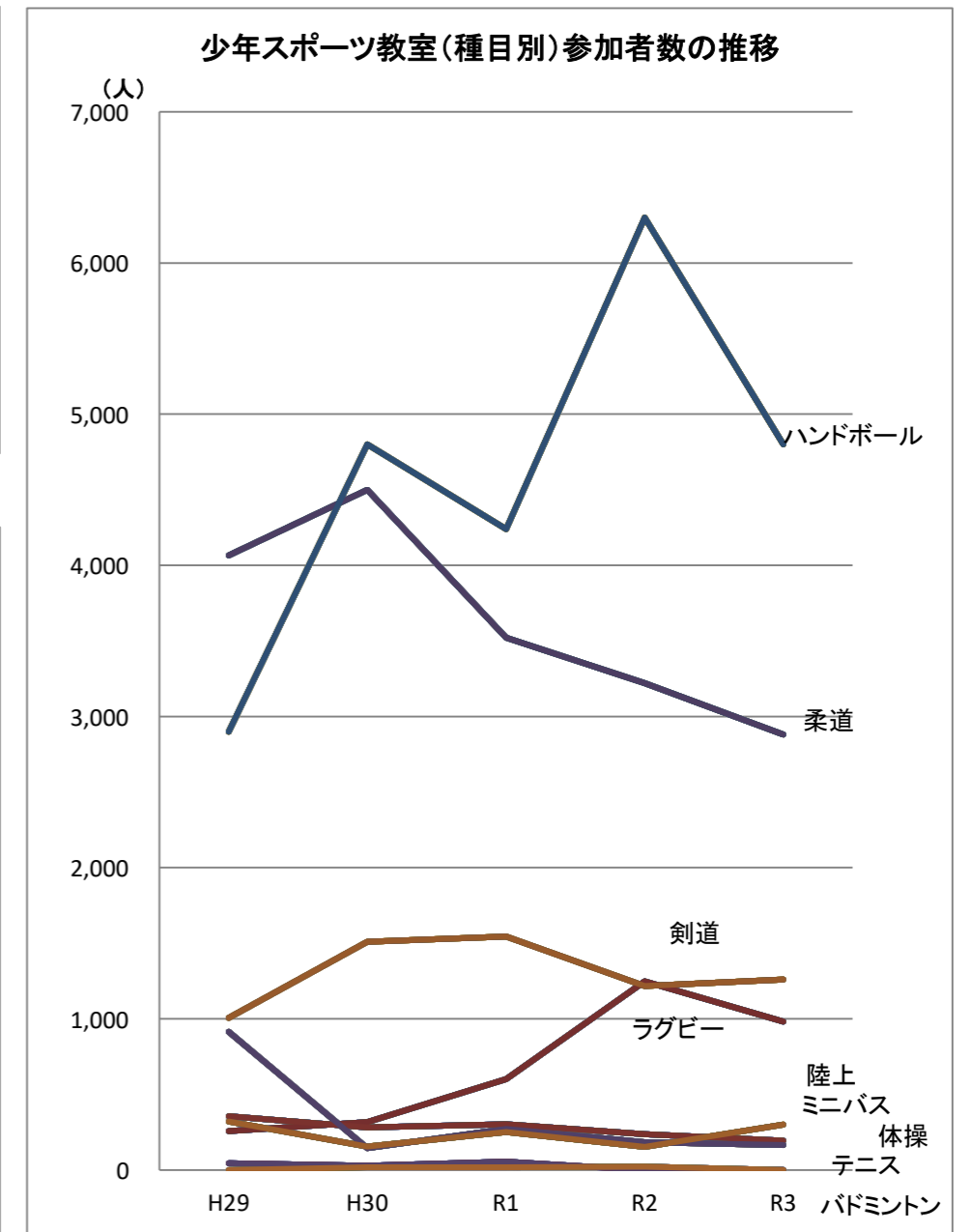
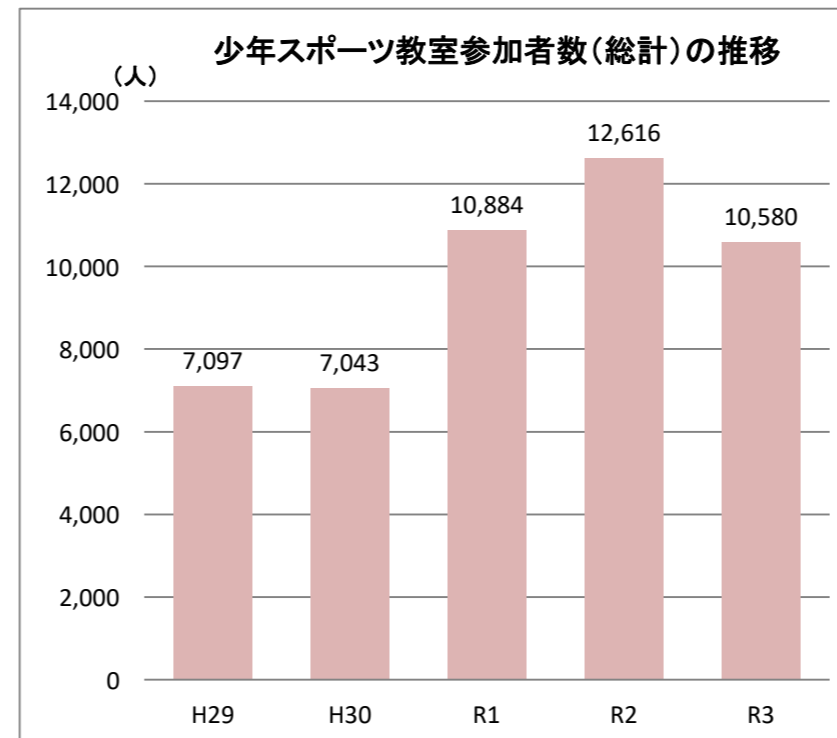
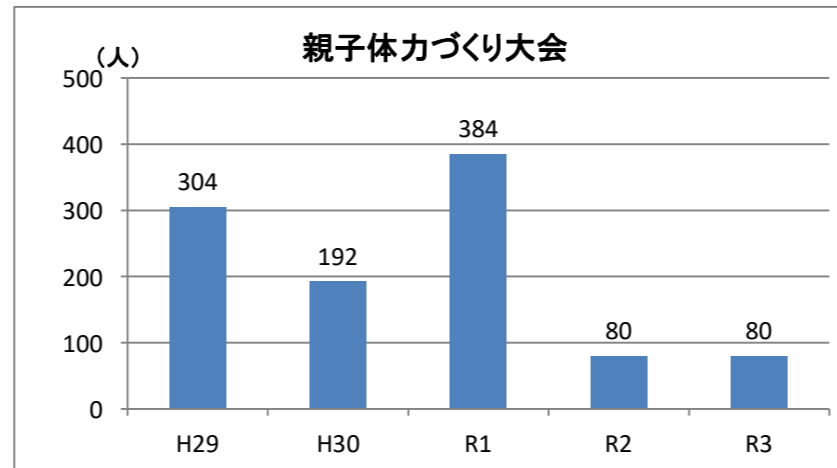
種目	区分	H29	H30	R1	R2	R3
親子体カづくり大会	子ども	154	96	192	40	40
	親	150	96	192	40	40
	計	304	192	384	80	80

【少年スポーツ教室】

種目	区分	H29	H30	R1	R2	R3
ラグビー	回数	25	27	31	33	29
	人数	257	316	601	1,247	981
柔道	回数	133	140	128	128	126
	人数	4,066	4,500	3,521	3,220	2,880
剣道	回数	120	138	123	120	117
	人数	1,007	1,510	1,545	1,218	1,260
ハンドボール	回数	98	128	118	126	154
	人数	2,900	4,800	4,240	6,300	4,800
陸上	回数	12	9	10	8	6
	人数	355	282	302	237	194
ミニバスケットボール	回数	9	10	10	9	7
	人数	914	145	271	184	165
体操	回数	10	9	8	7	7
	人数	322	155	251	154	300
テニス	回数	3	3	3	1	中止
	人数	131	88	81	34	中止
バドミントン	回数	3	2	3	中止	中止
	人数	45	29	54	中止	中止
空手道(H30～)	回数		3	3	3	中止
	人数		18	18	22	中止
合計	回数	315	341	437	435	446
	人数	7,097	7,043	10,884	12,616	10,580

【小学生を対象とする各種大会の開催】

種目	区分	H29	H30	R1	R2	R3
少年野球	チーム数	17	16	17	21	18
	人数	339	326	346	316	280
バレーボール小学生	チーム数	25	30	26	29	28
	人数	260	289	250	267	310
ミニバスケットボール	チーム数	24	0	0	0	0
	人数	429	0	0	0	0
合計	チーム数	66	46	43	50	46
	人数	1,028	615	596	583	590

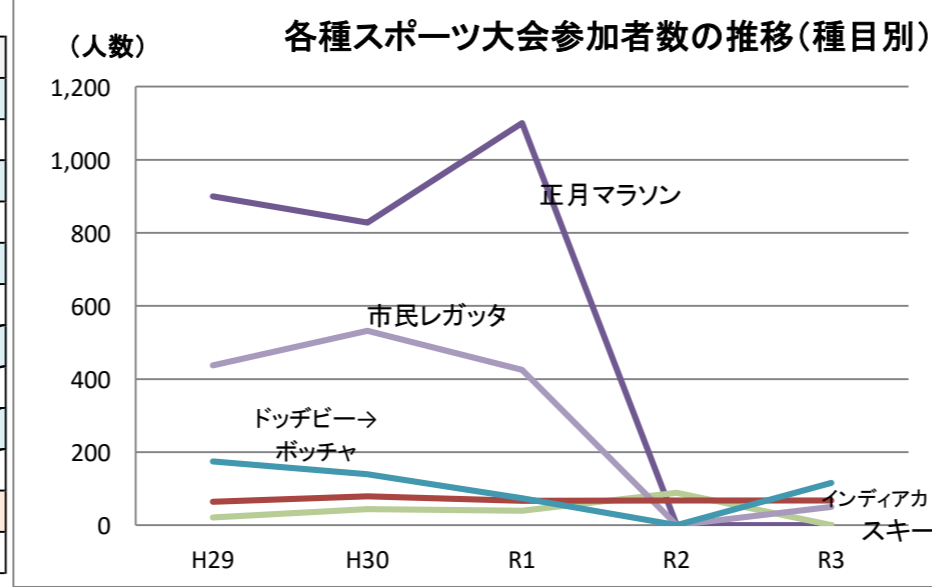


《参考資料》

基本方針Ⅰ-1-(2) 成年期からのスポーツ活動の推進

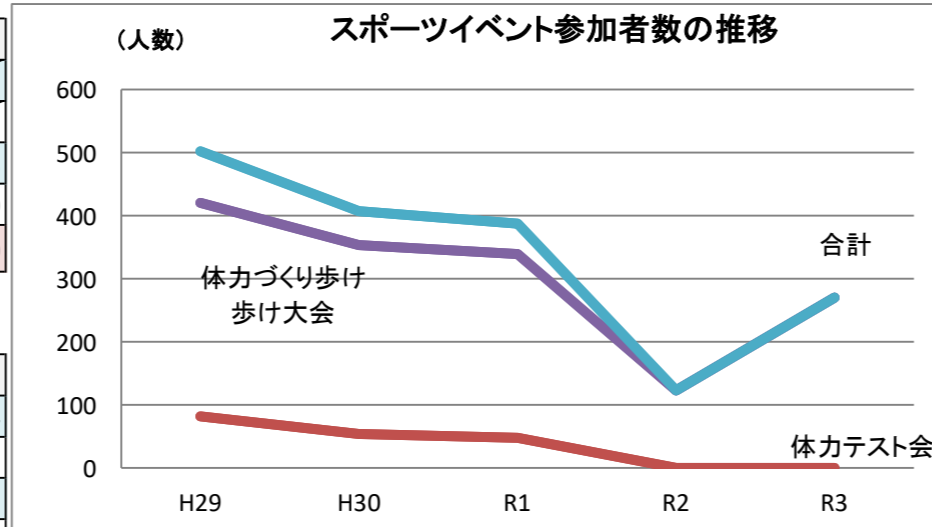
【各種スポーツ大会】

種目	区分	H29	H30	R1	R2	R3
市民レガッタ	チーム数	72	88	67		8
	人数	437	532	425		50
インディアカ	チーム数	13	15	12	12	12
	人数	64	79	67	68	68
ドッチビー大会(～H30) ポッチャ(R1～)	チーム数	12	10	21		30
	人数	175	140	74		116
正月マラソン	チーム数					
	人数	900	828	1,100		
スキー	チーム数					
	人数	21	44	40	89	
合計	チーム数	97	113	100	12	50
	人数	1,597	1,623	1,706	157	234



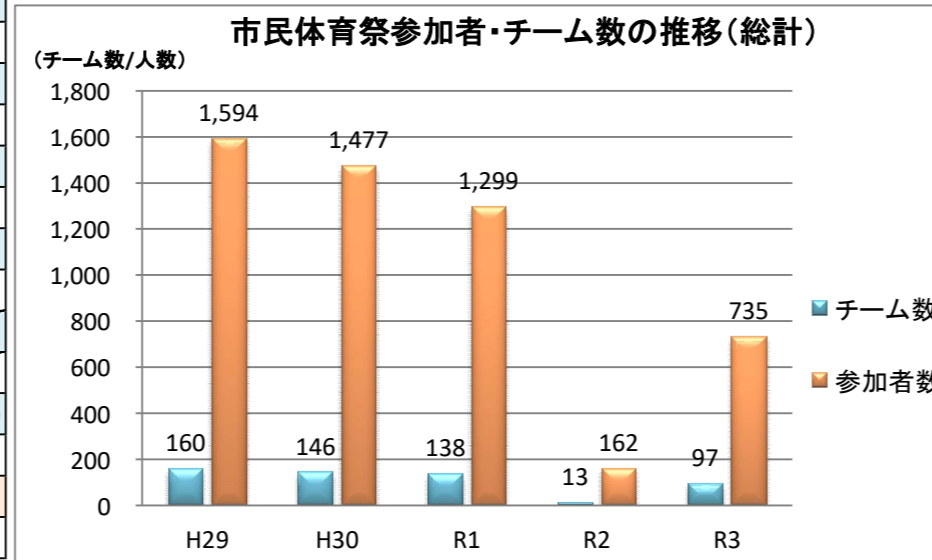
【体づくり歩け歩け大会・体カテスト会】

種目	区分	H29	H30	R1	R2	R3
体カテスト会	回数	2	2	2		
	人数	82	54	48		
体づくり歩け歩け大会	回数	12	12	11	4	8
	人数	420	353	339	123	270
合計	回数	14	14	13	4	8
	人数	502	407	387	123	270



【市民体育祭】

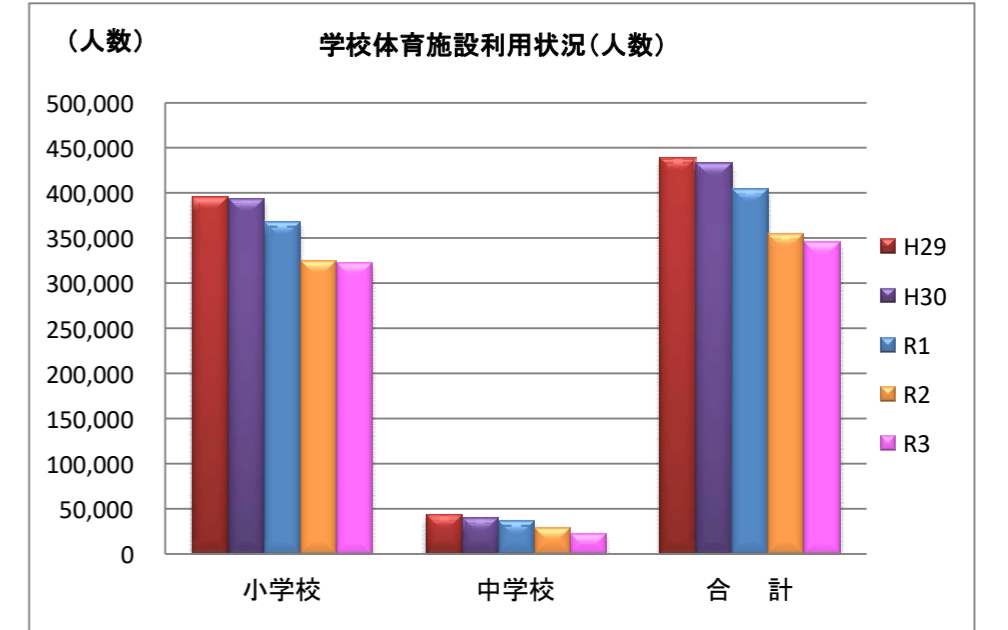
種目	区分	H29	H30	R1	R2	R3
ソフトボール	チーム数	8	7	6		4
	人数	170	152	135		56
卓球	チーム数	13	11	11		6
	人数	160	146	147		63
バドミントン	チーム数	8	5	4	7	6
	人数	72	52	33	47	42
バレーボール	チーム数	14	14	14		9
	人数	210	203	172		128
ソフトテニス	チーム数	12	11	10		5
	人数	193	187	150		72
グラウンドゴルフ	チーム数	79	74	70		57
	人数	464	417	378		317
野球	チーム数	11	10	10	6	
	人数	241	243	207	115	
ゲートボール	チーム数	15	14	13		10
	人数	84	77	77		57
合計	チーム数	160	146	138	13	97
	人数	1,594	1,477	1,299	162	735



基本方針Ⅱ-1 地域のスポーツ活動の推進

【学校体育施設開放事業】

種目	区分	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	チーム数	18,413	18,036	16,558	15,517	14,550
	人数	396,655	393,837	368,440	325,790	323,165
中学校	チーム数	3,054	2,808	2,449	2,035	1,636
	人数	43,383	40,208	37,018	29,216	22,870
合計	チーム数	21,467	20,844	19,007	17,552	16,186
	人数	440,038	434,045	405,458	355,006	346,035



基本方針Ⅲ-1 競技力の向上

【体育協会運営事業/体育表彰】

受賞名	種別	H29	H30	R1	R2	R3
体育功労賞	個人	10	8	7	7	7
優秀指導者賞	個人	3	3	4	2	2
スポーツ栄誉賞	個人	5	7	7	2	5
スポーツ特別賞	個人	5	4	2	2	0
スポーツ賞	個人	57	67	42	8	46
スポーツ賞	団体	12	14	13	3	14
スポーツ奨励賞	個人	119	114	113	61	66
スポーツ奨励賞	団体	46	30	45	12	18
合計	個人	199	203	175	82	126
	団体	58	44	58	15	32